

「日の出町教育ビジョン 2023（日の出町教育大綱）」実現状況

1 実現状況

【大久野小学校】共生社会の中で生きる力を育てる学習プログラムの開発（校内研究）

- ・昨年度、東京大学大学院 五十嵐 歩 准教授を中心としたプログラム開発スタッフとの協議を重ね、小学校6年間を通した体系化された学習プログラムを検討。
- ・今年度、1年間かけてプログラムの実証授業、研究協議会、効果検証を行い、成果と課題を明らかにして、プログラムの工夫・改善を行う。

【平井小学校】「Creating 日の出」学習発表会（6年生の総合的な学習の時間）

○日の出町の次代を担う

- ・「2040年の日の出町を魅力ある町にするに、何が必要か」を課題として、グループごとに資料を集め、整理・分析して、グループの考えをプレゼンテーションソフトを活用して、保護者や5年生に向けて発表。
- ・自然・観光・環境・福祉・防災等をテーマとして、子どもたちの視点で「日の出町をより良くしたい」という思いを表現。

【本宿小学校】「通学路ごみ拾い」と「日本認知症ケア学会企画作文コンクール入賞」

○自分の町を大切に思う気持ちの広がり

- ・広報「日の出」（令和5年1月号）で紹介された、3年生が通学路付近のごみ拾いが、全学年の児童の自主的な取組に発展。

○学びの成果の結実

- ・昨年度の6年生が、「共に生きる～高齢者が暮らしやすいまちを目指して～」の授業での学習をもとに、「未来をつくる子どもたちの作文コンクール 2024（一般社団法人 日本認知症ケア学会企画）」に応募。
- ・応募した全国の小中学生の中から、2名が佳作に入選。（入賞は、最優秀賞1作品、優秀賞2作品、佳作5作品、計8作品）

【大久野中学校】音楽部とアンサンブル・ポエムのジョイント演奏会

○「かかわり」と「つながり」、「学びの循環」の中での成長

- ・アンサンブル・ポエム創立30周年記念演奏会（5月19日・秋川キララホール）大久野中学校音楽部の生徒が、アンサンブル・ポエムの方々と共に「生きてゆく」「広い川の岸边」を合唱。
- ・部活動仲間以外の人との「かかわり」と「つながり」の中で、アンサンブル・ポエムの方々の高い専門性や音楽に対する思いが「学び」として循環し、音楽部の生徒にとって、多くの学びや気づきを得た。

【平井中学校】虹のあいさつ階段完成感謝の会（6月17日 全校朝会）

○家庭・地域・学校のつながりを重視した連携協働による学校づくり

- ・令和2年度から4年計画で整備が始まり、昨年度、完成した。
- ・虹のあいさつ階段づくりは、当時のPTA会長と保護者OB融資により、コロナ禍で頑張っている生徒を励ましたいという思いから始まった学校、保護者、地域の連携協働の取組